

民生委員・児童委員 / 主任児童委員ってご存知ですか？

“広げよう 地域に根ざした 思いやり”を活動スローガンとして、信楽町内で45名の委員がおり、江田・神山地区で7名が委嘱されております。「民生委員」は、「児童委員」を兼ねており、他に「主任児童委員」も児童福祉の分野からその活動に加わっております。

少子高齢化や核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人や、障害のある方・高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。

私たち民生児童委員は、同じ地域に暮らす住民の立場から、社会福祉の増進のために、生活や福祉全般に関する相談・援助活動や、子育ての不安や心配ごとに関する相談に応じたり支援をしています。

安心して安全に暮らせるよう、地域の皆さんを見守る役目を担って、身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めております。

【民生委員・児童委員の活動内容】

特定の区域を担当し、高齢者や障害がある方の福祉に関すること、子育てなどの不安に関する様々な相談・支援を実施

- 担当区域の高齢者や障害者のいる世帯、
児童・妊産婦・母子家庭などの状況把握
- 支援が必要な方の様々な相談・助言、
福祉・サービスなどの情報提供
- 「命のバトン」の取り組み ● 心配ごと相談 など



【主任児童委員の活動内容】

地域の児童福祉に関する機関の連携を図り、区域担当の児童委員の活動をサポート

- 市区町村、福祉事務所、児童相談所や保健所、学校と区域担当の児童委員・民生委員との連絡調整

江 田 区		神 山 区	
丸の内	平田 眞子	城村・向出・南新田	植西晴彦
日 吉	清原輝雄	下出・市場・西側・北出	溪 恒雄
本 町	杉本澄子	北新田・東出・掘畑	神山吉夫
主任児童委員(信楽学区)		松本 ふさえ	

江田 / 神山地区 民生・児童委員幹事 清原輝雄

早春の香りを食卓に

ヨモギは、太陽と土の恵みで育まれた安心して利用できる自然薬です。お灸の「艾(モグサ)」の原料としても有名です。ヨモギには様々な用途がありますが、3月から5月にかけての柔らかい葉先と新芽を摘んでヨモギ餅を作ってみましょう。

★下処理

- ① たっぷりの熱湯に重曹を入れ、きれいに洗ったヨモギを色よくゆでる。(重曹は水2ℓに対し小さじ1の割合)
- ② 色止めのために、流水で急激に冷ましたあと、約1時間ほどの間に3~4回水を変えてさらす。
- ③ 水気を固く絞る。

★材料 〈生地〉

- 上新粉200g ● 砂糖20g
 - 下処理したヨモギ20g ● 熱湯カップ2分の1
- 餡、きな粉は適宜に用意する。

★作り方

- ① ヨモギをすり鉢でよくすりつぶす。(フードプロセッサーで切る)
- ② ボウルに上新粉と砂糖を入れて箸で混ぜ合わせ、耳たぶぐらいの柔らかさになるまで熱湯を加えてこねる。
- ③ 蒸し器に濡れ布巾を敷き、こねた上新粉を一握りづつ平らにして並べ、強火で約20分間、透明感が出るまで蒸す。
- ④ 生地を①のすり鉢に入れ、手に砂糖水をつけながら、熱いうちにヨモギがいきわたるようによくこねる。
- ⑤ 適量の生地を用意した餡を包み、きな粉をまぶす。

